



# 令和7年6月第2回定例会

今議会は、5月30日から6月13日までの15日間の会期で開催され、村から提案された[承認2件、予算案7件、条例案3件、事件案2件、発議2件]を全会一致で承認・可決しました。また、請願1件、陳情1件を採択しました。

## 承認

令和7年度一般会計補正予算（第2号）で230万円増額（総額42億568万円）の専決処分を全会一致で承認しました。抜粋してお知らせします。（千円以下を四捨五入）

- 産業課** ・カヤの平ロッジの屋根と窓の修繕費 120万円（建物共済）  
 ・カヤの平総合案内所の屋根の修繕費 110万円（建物共済）  
 （いずれも雪害による破損。入山シーズンに間に合わせるための専決処分）

## 補正予算

令和7年度一般会計補正予算（第3号）で4,570万円増額（総額42億5,138万円）を全会一致で可決しました。抜粋してお知らせします。（千円以下を四捨五入）

- 総務課** ・ガバメントクラウド（行政システムの標準化・共有化）利用料 1,230万円  
**民生課** ・非課税世帯への価格高騰特別対策支援金 293万円（県費）  
 ・障がい者自立支援事業 電算処理システム改修委託料 130万円（国費含む）  
**産業課** ・センサーによる試験的熊よけ対策 19万円  
**建設課** ・村道378号線（西小路～部谷沢）<sup>のりめん</sup>法面崩落復旧工事 650万円（地方債）

## 条例改正

- 特別職の職員で非常勤の報酬及び費用弁償に関する条例について（一部改正）  
選挙の投票立会人等の報酬を国の基準に合わせるもの。
- 水道条例と下水道条例の改正について（一部改正）  
災害時などにスムーズに工事できるよう、必要に応じ、村指定の業者以外にも工事を行えるようにするもの。

## 事件

- 物品売買契約の締結について
  - ・契約の目的 除雪タイヤドーザ（16t級）1台 2,435万円
  - ・契約の相手方 株式会社前田製作所 飯山営業所

# 議 会

No.272



議会に対するご意見を  
お聞かせください。

電 話

☎0269(82)3111  
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会  
編集：議会だより編集委員会

## みなさんからの請願・陳情

受理番号	件名	結果	対応等
陳情第1号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願について	採択	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣あてに意見書を提出しました。
陳情第2号	高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情	採択	内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣あてに意見書を提出しました。

## 議会全員協議会【村からの提出案件】

4月28日

### 協議事項

- (1) 臨時会の議案等について
- (2) 地域防災計画について

### 報告事項

- (1) 4月16日に発生した熊の被害と対策の状況について
- (2) SBC木島平リゾート(株)の合併の件について
- (3) 農作物残雪対策の実施状況について
- (4) 地域おこし協力隊の採用について
- (5) 馬曲温泉について
- (6) 道の駅ファームス木島平再整備の経過等について

(7) 長電バス野沢線運行改定案について

5月23日

### 報告事項

- (1) 令和7年度一般会計補正予算専決処分について
- (2) 道の駅ファームス木島平再整備計画案に対する意見について

6月13日

### 協議事項

- (1) 「持続可能なまちづくり」に向けた可能性調査等の実施について

## 各議員の一般質問の項目

6月5・6日に8人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は来月(8月号)の議会だよりに掲載します。

### 第1日目(6月5日)

#### 1 山崎 栄喜

- ①道の駅再整備について
- ②農業委員会建議について

#### 2 湯本 直木

- ①令和5年度木島平村一般会計決算審査意見の対応について、その後の状況は
- ②ふるさと納税の返礼品の産地の確認作業は
- ③有害鳥獣対策事業について
- ④地域おこし協力隊員について
- ⑤FARMUS木島平再整備計画に対しての意見募集について

#### 3 湯本 行浩

- ①木島平村の少子化・人口減少問題と地域活性化について
- ②実質公債費比率について

#### 4 丸山 邦久

- ①少子化対策プロジェクトについて
- ②ファームス木島平の今後について

### 第2日目(6月6日)

#### 1 関 達夫

- ①木島平型農業の推進
- ②国の交付税と村民生活の調和について
- ③ファームスの再整備計画について

#### 2 江田 宏子

- ①副村長の就任にあたり
- ②子どもたちがいきいきと過ごせる環境づくりについて
- ③ファームス木島平の再整備計画について

#### 3 山浦 登

- ①道の駅ファームス再整備計画について
- ②冬季の一人暮らし高齢者の生活支援について
- ③米不足と米価高騰について
- ④早稲田大学地域連携ワークショップについて

#### 4 山本 隆樹

- ①下高井農林高校の将来像は

# 「令和7年3月定例会の審査意見」に対する村の対応

委員会審査の結果で出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。(要旨抜粋)

## 【令和6年度補正予算について】

### 子育て支援課

### 対応

給食センター給湯器からの漏水により、多量の重油が消費され、追加予算が計上されている。これを踏まえ、公共施設全般の定期的点検など、適切な維持管理に努められたい。

今後、毎月現地にて開催する献立委員会の際に定期点検を実施、記録、検証の点検サイクルを確立する。公共施設全般については、改めて光熱水費等の経費を常に注視し、適切な維持管理に努める。

## 【令和7年度一般会計予算について】

### 総務課

### 対応

財政状況が厳しい中、持続可能な村政運営のため、村全体の将来ビジョンを描く中で事業を精査し、メリハリのある財政運営に努められたい。

第7次総合振興計画、実施計画に基づき、子育て支援の充実、移住定住対策の推進など必要な事業は積極的に進めていくが、事務事業評価において効果の薄れた事業の廃止の検討や優先の低い事業の見直しなどを行いながら適正な財政運営に努める。

ものづくり大学との連携事業として「東屋移転費用」約340万円が計上されている。大学連携のアピールとともに、冬期の維持管理を考慮し、設置場所を慎重に検討されたい。

東屋の設置については、維持管理もしやすく村民にもご覧いただけるよう、役場南側の広場へ設置を計画している。また、大学との連携等についても周知を行い事業の内容がわかるよう努める。

「村制施行70周年」および「調布市姉妹都市盟約40周年」に関連し、各課で記念事業が計画されている。各課との連携を強化し、村民への早期周知を図るなど、村全体で機運を高めるよう努められたい。

予定している記念事業は随時庁内で共有し、ふう太ネットや広報を中心に積極的に周知を行い、村民にも関心を持っていただくよう努める。

### 民生課

### 対応

「村社会福祉協議会」の委託補助や人的支援等について、約1,680万円が計上されている。社協の経営の厳しさは理解するが、経営改善計画の提出を求め、村民の理解が得られるよう適切に対応されたい。

村社協は、介護保険事業のほか村から各種地域福祉事業を受けて運営している。事業のほとんどは村民の健康増進や介護予防に資する事業であり、村からの補助金や委託料などで対応すべきと考えている。県内の社協の多くは、同様に非常に厳しい経営状況に置かれており、村でも理事を充てるなどしながら運営と経営に関与し注視してきた。

「シニア世代団体活動補助」の趣旨は評価するが、申請団体等には新規加入者等の勧誘を促し、活動への参加者の増加につながるよう、運用を工夫されたい。

シニア世代の外出促進を図り社会とのつながりや生きがい、楽しみを創出することにより、健康増進と介護予防に資することを目的に実施する。周知を図り効果的な事業となるよう工夫していく。

**子育て支援課**

**対応**

「ルクセンブルク交流事業」について、社会情勢の変化により、村の財政負担が事業開始当初より約700万円増加し、令和7年度には約900万円計上されている。国際交流の意義は高く評価するが、ルクセンブルクとの往来に限定せず、より多くの生徒が体験でき、村の負担軽減につながる国際交流のあり方を早急に検討されたい。

旅費に対する補助額は従前から変わらないが、主要通貨の為替レートの変化や国際情勢の変化により事業費が大きく増加している。令和7年度の対象生徒は、令和6年度ホームステイ受入家庭の生徒で予め決定しているが、個人負担額の増については各家庭と相談・協議する。今後も予測不能な為替レートの変更等も想定されるなか、令和8年度以降は、個人負担額の増額を基本として早急に検討していく。

**産業企画室**

**対応**

農の拠点施設のこども広場へ「日よけタープ」の設置が予定されている。審査の過程で出された意見を踏まえ、さまざまなリスクを想定したうえで、十分な安全対策を講じられたい。

いただいた意見を参考に、さまざまなリスクを想定したうえで、十分な安全対策を講じる。

**産業課**

**対応**

「有機センター」の長寿命化工事実施設計委託料として、約960万円が計上されている。今後、検討委員会を設置し、さまざまな観点から将来を見据えた対応を検討されたい。

現在の密閉型方式による施設運営は令和15年度までとし、これ以降は開放型方式も含めた新たな施設による運営を検討するものとし、今後、検討委員会を設置し、令和10年度をめどに施設整備方針を示したいと考える。

「観光振興局」の運営補助や体制強化に向け、約4,700万円が計上されている。単なる事業消化に終わらせず、地域活性化・持続可能な地域づくりにつながるよう、事業の成果を検証されたい。

地域資源の活用と地域プロモーションに取り組み、地域づくりに結び付く事業成果が得られるよう事業進捗を図る。

「観光ビジョン策定業務」に約150万円が計上されている。委託業者任せにせず、村民を中心とした関係者による主体的な議論でビジョンを共有し、自ら策定したという実感を持てるような進め方を検討されたい。

「村民検討会」の設置を予定し、地域資源の分析と観光の現状を把握し、将来の展望を議論してビジョンを策定する。

**建設課**

**対応**

「デマンド交通」や「シャトル便」の委託費が倍増し、更新期間も短縮される中、福祉バスや自家用有償旅客運送制度の活用など、村としての対応策を早急に検討されたい。

通勤・通学・通院など、日常生活を維持できる交通手段の確保のため、引き続き既存の交通事業者との協議も含め検討を進める。

## 3月定例会以降の議会活動

議会では、定例会以外に、研修や村議会独自の議会活動などを行っています。  
3月定例会から6月定例会までの議会活動についてピックアップして掲載します。

### 地域おこし協力隊（沼野寛さん）活動報告（4月16日、22日）

観光振興局に所属する地域おこし協力隊から、2年間の活動の報告がありました。

「関係人口」の創出を産業振興につなげ、継続的な取り組みになるよう日々の業務に取り組んでおり、具体的な活動としては、米や日本酒、信州サーモンなど、村の特産品を通じた「ファンづくり」、カヤの平の自然やブナの森の魅力発信、また、信越自然郷や村内の事業者との連携によるアクティビティイベントや地域に根ざした文化行事などの情報発信に取り組んでいるとのことでした。

村民にとっては日常の行事でも、村外の出身者には「貴重な文化遺産」であり「観光コンテンツ」、そして「魅力的な人が多く住んでいることが何よりの村の財産」との言葉が印象的でした。

協力隊の皆さんには、役場や事業者、地域で活動する方々と連携し、「地域の拠点」となることを意識して活動を続けてほしいと思います。

### 議会改革特別委員会 企画

### 農業委員会との意見交換会（4月23日）



意見交換会の様子

議会への関心を高めていただくこと、また、農業の課題を共有することを目的に、農業委員会の皆さんとの意見交換会を行いました。農業委員会18名の皆さんには、農地法に基づく許認可業務に加え、遊休荒廃地の利活用促進など、村内農業の維持・発展にご尽力いただいています。議会としても課題を共有し、必要に応じて行政に意見を伝える役割の重要性を改めて感じました。

今回、委員の皆さんから出された主なご意見は次のとおりです。  
(紙面の都合上、要旨を抜粋して掲載します)

#### 【意見】

- ・高齢化により耕作できず、経済的に保安全管理も難しくなる。「ひと・もの・おかね」が必要。
- ・以前の圃場改良から漏れた農地や中山間の狭い農地を改良し、大型機械を利用できるよう、圃場改良が必要。
- ・農業振興公社は村の農業を支えていく大きな組織。レンタル事業、作業受託をやっているが人手不足。働き手を確保するなど、公社の内容を充実してほしい。
- ・農業振興公社での農機具のレンタルは、時期が重複して借りられない。充実を望む。
- ・村の新規就農者を受け入れる体制があまり整っていない。（作業場のある一軒家や農機具の購入にお金がかかる）
- ・地域おこし協力隊の受入れ先を農業振興公社でやってもらう制度があってもいい。例えば販売ルートを広げてもらうなどの面でも力を貸してほしい。
- ・有機センターの維持について、肥料も高くなっているので、今のところを修繕して継続してほしい。



### 議会へのご意見紹介

議員のなり手に関するご意見をいただきました。議会の対応とともにご紹介します。（要旨抜粋）

#### ご意見

村会議員も到底若者がなれるような条件でないため、若者の意見が全く反映されず、村の現役世代は意見をしなくても無駄と諦めて、知恵を絞ることを忘れていました。若者が頑張ればもっといい村になるはずなのに、若者が本業または副業として議員になれるような条件にしてください。

#### 対応

「議会改革特別委員会」を設置し、議員のなり手不足、議会への関心や議員報酬などの課題について検討しています。現実的に、現在の報酬だけで一家の生活を支えるのは難しい状況ですが、改善に向けて検討しています。

なお、若い方が議員になるための条件や環境整備について具体的なご意見をお聞かせいただければ幸いです。今後も議会に関心を持っていただけるよう取り組んでまいります。

## 次回定例会の開催予定

### 【9月議会定例会】※現時点での予定です。

開会日 8月29日(金)  
 一般質問① 9月3日(水)  
 一般質問② 9月4日(木)  
 閉会日 9月16日(火)

### 請願・陳情の受付締切日

8月13日(水) 午後5時  
 議会事務局へ直接お持ちいただき、  
 事務局員に説明をお願いします。



### 定例会・臨時会の会議録は、どなたでもご覧いただけます

会議録は、定例会・臨時会の本会議記録を載せています。  
 次の場所・方法で閲覧できます。  
 ・役場2階の議会事務局での閲覧(平日午前8:30~午後5:15)  
 ・村公式ウェブサイトに掲載

木島平村で検索して、次のように進んでください。

公式ウェブサイト(トップページ下段)の「木島平村議会」→「会議録」

※6月定例会会議録は、現在作成中のため次回定例会までに掲載予定です。



スマートフォン・タブレットからは、QRコードの読み取りで閲覧いただけます。

### 議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴できます。  
 傍聴席は、役場2階 議場後方が入口です。  
 また、本会議は、ふう太ネットで生放送および再放送をしています。  
 開会日と閉会日の再放送は、当日の午後7時からです。  
 一般質問の再放送は、ふう太ネット番組表または音声放送等でご確認ください。



ON AIR

### 議会だより編集委員

委員長 江田宏子  
 副委員長 山本隆樹  
 委員 山浦 登  
 関 達夫  
 湯本直木  
 湯本行浩

ちょっと  
いっぷく

### 議員の ひろく

実は私、夏がとて苦手なのは、なぜ苦手なのか…。まずはこの猛暑！暑さにはめっぽう弱い私です。プールや海も、子どもの頃から顔に水がかかると嫌で楽しめず…。そのおかげ(?)で、夏に楽しめる「パラグライダー」にはまり、木島平に通うように♡

「苦手な理由・その2」は、虫やミミズ・カエル・ヘビなどが多くなること。セミは突然突進してくるし、ミミズやカエルのヌメヌメ感もダメ。カエルが家の中にいるものなら悲鳴！大パニックです。

そんな私も、キャンプなどの野外活動が好きで、学生時代から、「子育ては自然豊かな田舎で…」と思っていました。ですから、その想いを木島平で実現できたことに改めて感謝です。そしてまた、「四季折々、時々刻々と移り変わる素敵な風景」に日々癒やされています。

地球沸騰化が懸念される今、日本の原風景とも言えるこの景観が未永く続いていくことを願っています。

結びに、皆さま、熱中症にはくれぐれもお気をつけください。  
HIROKO